

2026 年 9 月 25 日
公益財団法人 白鶴美術館

2026 年白鶴美術館秋季展のお知らせ

平素は、当館活動についてご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、当館 2026 年秋季展についてお知らせさせていただきます。

当館は昭和 6 (1931) 年に白鶴酒造七代嘉納治兵衛(1862-1951)の寄贈品五百点をもとに設立され、同 9(1934)年 5 月に開館致しました。以来、東洋古美術の優品を収蔵する美術館として、春・秋二回の展示を軸に活動を続けております。

本秋季展では、当館所蔵品より金工品や玉石を使用した東洋工芸を展示します。

中国、殷・西周時代青銅器、唐時代銀器、また朝鮮三国時代や日本の古墳時代に作られた装身具などの形や色、円文や旋回文にも注目していきます。

新館では所蔵のなかから、アナトリアのメダル形・ランプ文を描いた絨毯を中心に展示を行います。

■展覧会名 「旋回する美・光彩の美 —めくるめく東洋金石工芸」(本館) 「アナトリアのメダリオン・ランプ文」(新館)

- 会 場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1 TEL/FAX:078-851-6001
- 日 時 9 月 26 日(土)~12 月 13 日(日) 午前 10 時~午後 4 時 30 分(入館午後 4 時まで)
- 入館料 大人 800 円 大学・高校生 500 円 中学・小学生 250 円
(割引 上記各団体 20 名以上 2 割引 65 歳以上 500 円)

- ・取材をご希望の場合は、本展示開始 9 月 26 日以降のご連絡 TEL(078-851-6001) をお願い申し上げます。
- ・当館概要につきましては、公式サイト <https://www.hakutsuru-museum.org/about/> もご覧ください。

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
TEL/FAX 078-851-6001
(公財)白鶴美術館 担当 学芸課 海原

展覧会基本情報：

■展覧会名 白鶴美術館秋季展

「旋回する美・光彩の美 ーめくるめく東洋金石工芸」(本館)

「アナトリアのメダリオン・ランプ文」(新館)

■会 場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1

■日 時 9 月 26 日(土)~12 月 13 日(日)

月曜休館

(10 月 12 日・11 月 23 日は開館、翌火曜日休館)

午前 10 時~午後 4 時 30 分(入館午後 4 時まで)

■入館料 大人 800 円 大学・高校生 500 円

中学・小学生 250 円

(割引 上記各団体 20 名以上 2 割引 65 歳以上 500 円)



白鶴美術館(本館展示室外観)

展示概要：

今回は、当館所蔵品より金工品や玉石を使用した東洋工芸を展示します。

古来、地上の鉱石は各時代地域で、様々な技術を駆使して加工され美術品ともなってきました。中国、殷・西周時代青銅器、唐時代銀器、また朝鮮三国時代や日本の古墳時代に作られた装身具などの形や色、円文や旋回文にも注目してみましょう。

重々しい宗教性をまとう器物も華やかな吉祥性を伴う装飾工芸も、制作目的があって生みだされています。当時の制作技術や使用環境など、様々な歴史的情報を秘めた作品を考察によって、古代の人びとの文化の一端を共有することになります。

「まねてみたい。使ってみたい。」そうした造形も見えてくるかもしれません。

新館では、アナトリアのメダル形・ランプ文を描いた絨毯を中心に展示を行います。様々なメダル形・宗教性を伴うランプ文の特徴をみていきます。

展示作品例：



展示品例

<本館>

左：「夔鳳文壺」西周時代

右：「金製蟬文飾」六朝時代

下左：「銀製鍍金透彫花文簪」唐時代

下中央：重要文化財「硬玉勾玉付金鎖頸飾」古墳時代

<新館>

下右：絨毯(フェルテック アナトリア中央部) 19 世紀中期紀初期



イベント：

・文化財講座

(定員 40 名)

タイトル：「白鶴美術館の古代金工品の制作法をひも解く」

日 時：10 月 18 日（日）午後 2 時～3 時 30 分

講 師：ふくやま美術館館長 原田一敏 氏

・中国古代文化考察プログラム

(定員 40 名)

タイトル：『金文通釈』にアプローチ！

日 時：11 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～4 時

リレー・トーク：田中敏雄 氏 大阪芸術大学名誉教授

山中理 氏 当館理事

山本堯 氏 泉屋博古館学芸員

講 演 会：「白川静教授の漢字学」 講師：泉屋博古館名誉館長 小南一郎 氏

・中東文化を知る講演会

(定員 40 名)

タイトル：「オスマン朝期のアナトリアにおける銅生産と銅製品」

日 時：12 月 6 日（日）午後 2 時～3 時 30 分

講 師：関西大学 文学部教授 澤井一彰 氏

・金工の伝統技術を知る特別文化財ワークショップ

(定員 20 名)

タイトル：「古いモノから得る」

日 時：12 月 13 日（日）午後 1 時 30 分～3 時

講 師：金工 職人・作家 須藤拓 氏

・大学生ワーク・ショップ

(先着 20 名)

タイトル「クルッと反転！紙が要のミニ屏風」

日時：11 月 15 日・22 日・29 日（各日曜日）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

大学生たちが集うワークショップお披露目会も開催予定です。

日程が決まり次第、公式サイト内でご案内します。

・スライド解説

(定員 40 名)

タイトル：「展示品の魅力」

日 時：展示期間中の第 2 土曜日 午後 1 時～2 時

講 師：当館学芸員

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1

TEL/FAX 078-851-6001

(公財)白鶴美術館 担当 学芸課 海原

公式サイト

<https://www.hakutsuru-museum.org>

白鶴美術館

秋季展

本館

参回する美 光彩の美

めくるめく東洋金石工芸

新館

アナトリアの
メダリオン・ランプ文

2026年

9月26日(土) → 12月13日(日)

休館日 毎週月曜日 (10月12日・11月23日は開館、翌火曜日休館)

開館時間 午前10時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

入館料 大人 800円 / 大学・高校生 500円 /
中学・小学生 250円

※上記各団体20名以上2割引、65歳以上500円



公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

お問い合わせ：〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 TEL / FAX 078-851-6001
予定の変更や入場制限など、最新の情報は、当館サイトのトップページ、もしくはお電話でご確認のうえご来館ください。



HAKUTSURU SAKE

旋回する美 光彩の美

まねてみたい！
使ってみたい？

本館

めくるめく東洋金石工芸

今回は、当館所蔵品より金工品や玉石を使用した東洋工芸を展示します。

古来、鉱石は各時代・地域において、様々な技術を駆使し加工され、美術品ともなってきました。中国、殷・西周時代青銅器、唐時代銀器、また朝鮮三国時代や日本の古墳時代に作られた装身具などの形や色、そこに施された円文や旋回文にも注目してみましょう。

重々しい宗教性をまとう器物も華やかな吉祥性を伴う装飾工芸も、制作目的があって生みだされています。当時の技術や使用環境など、様々な歴史的情報を秘めた作品の考察によって、古代の人びとの文化の一端を共有することになります。「まねてみたい。」「使ってみたい。」そうした造形も見えてくるかもしれません。

新館では、アナトリアのメダル形・ランプ文を描いた絨毯を中心に展示を行います。様々なメダル形・宗教性を伴うランプ文の特徴をみていきます。



重要文化財
硬玉勾玉付金鎖頸飾
古墳時代



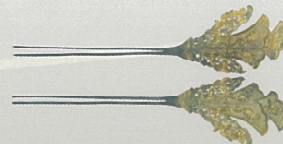
重要文化財
金銅垂飾
飛鳥時代



變鳳雷文壺
西周時代



金製蛭文飾
六朝時代



銀製鍍金花文簪
唐時代



フェルテック
アナトリア中央部
19世紀中期



チャナツカレ(エジネ)
アナトリア西部
20世紀初期

新館
アナトリアの
メダリオン・ランプ文

Event



<文化財講座>

定員：40名

テーマ：「白鶴美術館の古代金工品の制作法をひも解く」

日時：10月18日(日) 午後2時～3時30分

講師：ふくやま美術館館長 原田一敏 氏



<中国古代文化考察プログラム>

定員：40名

テーマ：「『金文通釈』にアプローチ！」

日時：11月8日(日) 午後1時30分～4時

リレー・トーク：田中敏雄 氏 (大阪芸術大学名誉教授)
山中理 氏 (当館理事)
山本堯 氏 (泉屋博古館学芸員)

講演会：「白川静教授の漢字学」泉屋博古館名誉館長 小南一郎 氏



<金工の伝統技術を知る特別文化財ワークショップ>

定員：20名

テーマ：「古いモノから得る」

日時：12月13日(日) 午後1時30分～3時

講師：金工職人・作家 須藤拓 氏

- 各イベント参加には入館が必要です。
- イベント参加予約は行っておりません。ご参加は先着順(定員数まで)となります。



<中東文化を知る講演会>

定員：40名

テーマ：「オスマン朝期のアナトリアにおける銅生産と銅製品」

日時：12月6日(日) 午後2時～3時30分

講師：関西大学 文学部教授 澤井一彰 氏

<スライド解説>

定員：40名

テーマ：「展示品の魅力」

日時：展示期間中の第2土曜日 午後1時～2時

講師：当館学芸員

<大学生ワーク・ショップ>

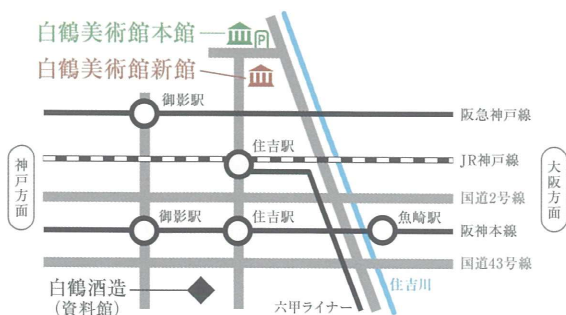
先着20名

テーマ：「クルッと反転！紙が要のミニ屏風」

日時：11月15日・22日・29日(各日曜日) 午後1時30分～3時30分
指導員：甲南大学学生

※大学生たちが集うワークショップお披露目会も開催予定です。
日程が決まり次第、公式サイト内でご案内します。

Information



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森古行き「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から北東約1km(徒歩15分)

お車でのお越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
 - 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km
- ※無料駐車場あり(大型バスも可)

▲展示を含むイベントの開催予定は変更される場合がありますので、最新情報をご確認の上ご来場ください。

次回春季展は
2027年3月21日(火)から開催予定です

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

《お問い合わせ先》

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001